



2019年11月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年10月1日

上場会社名 キューピー株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2809 URL <https://www.kewpie.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 長南 収
 問合せ先責任者 (役職名) 経営推進本部長 (氏名) 金子 俊浩 TEL 03-3486-3331
 四半期報告書提出予定日 2019年10月15日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 有
 四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年11月期第3四半期の連結業績 (2018年12月1日～2019年8月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年11月期第3四半期	407,467	△6.0	25,000	△4.3	26,227	△4.2	14,737	0.3
2018年11月期第3四半期	433,446	3.0	26,119	7.1	27,363	8.3	14,689	2.4

(注) 包括利益 2019年11月期第3四半期 14,194百万円 (△14.0%) 2018年11月期第3四半期 16,509百万円 (△29.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年11月期第3四半期	103.03	—
2018年11月期第3四半期	99.90	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年11月期第3四半期	440,970	273,298	52.7
2018年11月期	419,736	266,100	53.9

(参考) 自己資本 2019年11月期第3四半期 232,513百万円 2018年11月期 226,332百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年11月期	—	19.00	—	19.00	38.00
2019年11月期	—	20.00	—	—	—
2019年11月期 (予想)	—	—	—	25.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

2019年11月期(予想)の期末配当金につきましては、創業100周年記念配当5円を含んでおります。

3. 2019年11月期の連結業績予想 (2018年12月1日～2019年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	550,000	△4.1	33,200	0.4	34,400	0.1	18,400	0.4	128.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1社（社名）、除外 1社（社名）株式会社カナエフーズ
（注）詳細は、添付資料 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表および主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動）」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年11月期 3 Q	150,000,000 株	2018年11月期	150,000,000 株
② 期末自己株式数	2019年11月期 3 Q	6,957,866 株	2018年11月期	6,956,925 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年11月期 3 Q	143,042,617 株	2018年11月期 3 Q	147,043,926 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 3 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表および主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書および四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8
3. 補足情報	10
(1) 売上高・営業利益の状況と営業利益の増減要因	10
(2) 設備投資と主要な販売費・一般管理費	12
(3) 国内におけるサラダ調味料の業態別販売量および金額（キューピー株式会社）	12
(4) 海外展開 売上高・営業利益の状況	13
(5) 営業外・特別損益の主な増減内容	14
(6) 貸借対照表の概要、増減内容	14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

◇ 当社グループ（当社および連結子会社）の状況

当社グループは、2019年に創業100周年を迎えるにあたり、長期ビジョンとして「キユーピーグループ2030ビジョン」を策定しております。「2030ビジョン」を掲げることで想いを1つにし、世界に貢献できる事業分野を伸ばすと同時に、社会的な課題に取り組み、広く共感されるグループをめざしております。

また、2019年度からの3年間を対象とする中期経営計画を策定し、国内での持続的成長と海外での成長加速を実現するため、3つの経営方針（国内では3事業に集中し食の主役化を推進、海外では中国・東南アジアを中心に展開を加速、環境変化に対応した経営基盤の強化）を定めております。

・売上高

前年度に実施した事業譲渡や国内の鶏卵相場下落などの影響により、4,074億67百万円と前年同期に比べ△259億79百万円（△6.0%）の減収となりました。

・利益

付加価値品の伸張など売上総利益率の改善は進みましたが、前年度に実施した事業譲渡や労務費などのコスト増加による影響を受け、営業利益は250億円と前年同期に比べ△11億19百万円（△4.3%）、経常利益は262億27百万円と前年同期に比べ△11億36百万円（△4.2%）の減益となりました。

また、事業譲渡益の増加などにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は147億37百万円と前年同期に比べ48百万円（0.3%）の増益となりました。

◇ セグメント別の状況

[売上高の内訳]

(単位：百万円)

	前第3四半期 (自 2017年12月1日 至 2018年8月31日)	当第3四半期 (自 2018年12月1日 至 2019年8月31日)	増減 (金額)	増減 (比率)
調理・調味料	139,551	139,461	△90	△0.1%
サラダ・惣菜	92,919	67,374	△25,545	△27.5%
タマゴ	74,503	73,994	△509	△0.7%
フルーツソリューション	12,254	11,821	△433	△3.5%
ファインケミカル	7,429	6,040	△1,389	△18.7%
物流	102,635	105,056	2,421	2.4%
共通	4,152	3,718	△434	△10.5%
合計	433,446	407,467	△25,979	△6.0%

[営業利益の内訳]

(単位：百万円)

	前第3四半期 (自 2017年12月1日 至 2018年8月31日)	当第3四半期 (自 2018年12月1日 至 2019年8月31日)	増減 (金額)	増減 (比率)
調理・調味料	15,530	16,531	1,001	6.4%
サラダ・惣菜	3,304	2,097	△1,207	△36.5%
タマゴ	5,907	6,173	266	4.5%
フルーツソリューション	751	228	△523	△69.6%
ファインケミカル	930	713	△217	△23.3%
物流	3,664	3,353	△311	△8.5%
共通	1,150	1,114	△36	△3.1%
全社費用	△5,120	△5,210	△90	—
合計	26,119	25,000	△1,119	△4.3%

調理・調味料

- ・海外のマヨネーズ・ドレッシングは伸張したが、国内業務用の販売減少などにより減収
- ・主原料価格の安定に加え、海外の増収効果や低収益商品の見直しにより増益

サラダ・惣菜

- ・前年度に実施した事業譲渡の影響や、葉物野菜の相場下落によるカット野菜の需要減少により減収減益

タマゴ

- ・国内の販売量は増加したが、鶏卵相場下落の影響により減収
- ・付加価値品を中心とした国内の販売量の増加などにより増益

フルーツ ソリューション

- ・ジャム・スプレッドは好調に推移したが、食品メーカー向けの販売減少などにより減収
- ・売上の減少に伴う利益減、調理食品の他事業への生産移管の影響などにより減益

ファインケミカル

- ・医療機器ビジネスは順調に推移したが、前年度に実施した医薬用EPAの事業譲渡の影響により減収減益

物流

- ・共同物流などの既存顧客の取扱い拡大が進み増収
- ・事業拡大や体制強化に伴う人件費などの増加により減益

共通

- ・外部向け原料販売の減少により減収減益

(2) 財政状態に関する説明

◇総資産、負債、純資産の状況

- ・総資産は、4,409億70百万円と前連結会計年度末に比べ212億34百万円増加
主に現金及び預金、受取手形及び売掛金、建設仮勘定の増加による
- ・負債は、1,676億71百万円と前連結会計年度末に比べ140億35百万円増加
主に支払手形及び買掛金、賞与引当金、長期借入金の増加による
- ・純資産は、2,732億98百万円と前連結会計年度末に比べ71億98百万円増加
主に利益剰余金の増加による

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは、2018年12月からの3年間を対象とする中期経営計画において、国内での持続的成長と海外での成長加速の実現をめざすとともに、変化する社会的な課題に取り組むなど今後の成長に向けた経営基盤の強化も進めております。

初年度となる2019年度は、主原料価格の変動や個人消費の変化など、当社グループにとって不透明な環境が続くものと思われれます。

そのような中、当社は創業100周年を迎えることから、記念のイベントや消費者キャンペーン、記念配当などで日頃の感謝をお伝えするとともに、市場の活性化にも努めています。

また、日本国内においては、調理・調味料事業、サラダ・惣菜事業、タマゴ事業に集中して「食の主役化」を推進し、利益創出力を向上させてまいります。そのために、最適な生産体制の構築を進め、生産合理化によるコスト競争力を強化するとともに、今後の成長に向けて生産能力を向上させてまいります。そして、各事業の販路の相互活用や、新たな販路への展開を進めることで販売機会の拡大を図るとともに、独自の素材や技術を活用して新たな価値を創出してまいります。

海外においては、マヨネーズと深煎りごまドレッシングでサラダ需要を拡大するとともに、各エリアの状況に応じた提案や開発を中国と東南アジア中心に行うことで、売上拡大により利益創出力を向上させてまいります。

なお、本年7月4日に公表しました2019年11月期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表および主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	38,493	44,979
受取手形及び売掛金	77,034	86,251
有価証券	9,500	9,500
商品及び製品	16,695	16,355
仕掛品	963	1,348
原材料及び貯蔵品	10,595	9,706
その他	5,566	5,780
貸倒引当金	△446	△415
流動資産合計	158,402	173,506
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	181,314	183,080
減価償却累計額	△106,708	△107,365
建物及び構築物（純額）	74,605	75,715
機械装置及び運搬具	175,809	178,107
減価償却累計額	△123,835	△124,351
機械装置及び運搬具（純額）	51,974	53,755
土地	52,084	52,196
建設仮勘定	11,223	14,423
その他	25,150	25,502
減価償却累計額	△16,182	△16,940
その他（純額）	8,968	8,561
有形固定資産合計	198,856	204,652
無形固定資産		
のれん	1,233	1,044
その他	5,059	8,465
無形固定資産合計	6,293	9,509
投資その他の資産		
投資有価証券	29,673	25,867
退職給付に係る資産	11,552	12,042
その他	15,140	15,572
貸倒引当金	△181	△180
投資その他の資産合計	56,184	53,301
固定資産合計	261,334	267,463
資産合計	419,736	440,970

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	44,518	50,427
短期借入金	9,496	12,667
1年内償還予定の社債	10,000	—
未払法人税等	6,775	4,131
賞与引当金	1,937	5,783
その他の引当金	1,000	2,818
その他	27,160	28,118
流動負債合計	100,888	103,946
固定負債		
社債	—	10,000
長期借入金	36,664	40,549
退職給付に係る負債	3,546	3,030
資産除去債務	1,123	1,185
その他	11,413	8,959
固定負債合計	52,748	63,725
負債合計	153,636	167,671
純資産の部		
株主資本		
資本金	24,104	24,104
資本剰余金	29,543	29,483
利益剰余金	183,431	192,590
自己株式	△15,859	△15,862
株主資本合計	221,219	230,315
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,618	8,051
繰延ヘッジ損益	△28	△17
為替換算調整勘定	△1,459	△2,761
退職給付に係る調整累計額	△4,018	△3,075
その他の包括利益累計額合計	5,112	2,197
非支配株主持分	39,768	40,784
純資産合計	266,100	273,298
負債純資産合計	419,736	440,970

（2）四半期連結損益計算書および四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第3四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2017年12月1日 至 2018年8月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2018年12月1日 至 2019年8月31日）
売上高	433,446	407,467
売上原価	332,304	307,272
売上総利益	101,142	100,195
販売費及び一般管理費	75,023	75,195
営業利益	26,119	25,000
営業外収益		
受取利息	59	80
受取配当金	470	426
持分法による投資利益	113	114
受取保険金	237	450
その他	888	983
営業外収益合計	1,768	2,055
営業外費用		
支払利息	260	222
その他	263	606
営業外費用合計	523	828
経常利益	27,363	26,227
特別利益		
事業譲渡益	—	643
固定資産売却益	79	98
その他	425	154
特別利益合計	504	896
特別損失		
固定資産除却損	844	729
減損損失	219	642
その他	554	180
特別損失合計	1,619	1,552
税金等調整前四半期純利益	26,249	25,570
法人税等	8,700	8,198
四半期純利益	17,549	17,372
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,859	2,634
親会社株主に帰属する四半期純利益	14,689	14,737

（四半期連結包括利益計算書）
（第3四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2017年12月1日 至 2018年8月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2018年12月1日 至 2019年8月31日）
四半期純利益	17,549	17,372
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,103	△2,648
繰延ヘッジ損益	△16	△3
為替換算調整勘定	△898	△1,532
退職給付に係る調整額	978	1,006
その他の包括利益合計	△1,039	△3,177
四半期包括利益	16,509	14,194
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	13,762	11,822
非支配株主に係る四半期包括利益	2,747	2,372

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

第1四半期連結会計期間において、株式会社カナエフーズ（特定子会社）は、キューピータマゴ株式会社（特定子会社）を存続会社とする吸収合併をしたため、連結の範囲から除外しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 2018年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2017年12月1日 至 2018年8月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	調理・ 調味料	サラダ・ 惣菜	タマゴ	フルーツ ソリューション	ファイン ケミカル	物流	共通	合計	調整額 (注)1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)2
売上高										
外部顧客への 売上高	139,551	92,919	74,503	12,254	7,429	102,635	4,152	433,446	—	433,446
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	5,115	81	3,290	236	231	23,234	7,362	39,553	△39,553	—
計	144,667	93,001	77,794	12,491	7,661	125,869	11,514	473,000	△39,553	433,446
セグメント利益	15,530	3,304	5,907	751	930	3,664	1,150	31,239	△5,120	26,119

(注) 1. セグメント利益の調整額△5,120百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第3四半期連結累計期間において、「タマゴ」で減損損失を219百万円計上しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自2018年12月1日至2019年8月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	調理・ 調味料	サラダ・ 惣菜	タマゴ	フルーツ ソリューション	ファイン ケミカル	物流	共通	合計	調整額 (注)1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)2
売上高										
外部顧客への 売上高	139,461	67,374	73,994	11,821	6,040	105,056	3,718	407,467	—	407,467
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	4,925	159	2,571	749	335	23,348	7,257	39,346	△39,346	—
計	144,386	67,534	76,565	12,571	6,375	128,404	10,976	446,813	△39,346	407,467
セグメント利益	16,531	2,097	6,173	228	713	3,353	1,114	30,211	△5,210	25,000

(注) 1. セグメント利益の調整額△5,210百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、2019年度からの3年間を対象とする中期経営計画に基づき、より経営責任の領域に即した事業活動を展開するため、グループの事業推進体制を以下のとおり変更しております。

◇事業区分の変更

- ・従来の「調味料事業」に「加工食品事業」のアヲハタ株式会社部分以外を移管し、「調理・調味料事業」に名称を変更
- ・「加工食品事業」に含まれていたアヲハタ株式会社部分を「フルーツソリューション事業」として独立
- ・「物流システム事業」に含まれていた賃貸に関わる取引を「共通事業」に移管し、「物流事業」に名称を変更

◇全社費用について

- ・各事業に按分できない費用（本社経費など）を全社費用として区分

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

3. 補足情報

注) 1. 表示単位未満の端数は四捨五入にて表示しており、合計が合わない場合があります。
 2. 2019年11月期より、次のとおり変更いたしました。

◇事業区分の変更

- ・「調味料事業」に「加工食品事業」のアヲハタ株式会社以外を移管し、「調理・調味料事業」に名称を変更
- ・「加工食品事業」のアヲハタ株式会社部分を「フルーツ ソリューション事業」として独立
- ・「物流システム事業」に含まれていた賃貸に関わる取引を「共通事業」に移管し、「物流事業」に名称を変更

◇全社費用について

- ・各事業に按分できない費用（本社経費など）を全社費用として区分

(1) 売上高・営業利益の状況と営業利益の増減要因

【売上高】

(単位：億円)

旧事業区分	事業名	第1四半期	第2四半期	第2四半期累計	第3四半期	第3四半期累計	第4四半期	通期
2017年 11月期	調味料	343	397	740	393	1,132	372	1,504
	タマゴ	240	259	499	248	747	258	1,005
	サラダ・惣菜	275	293	568	298	867	288	1,155
	加工食品	110	123	232	120	352	114	466
	ファインケミカル	23	28	51	27	78	28	106
	物流システム	310	332	642	335	977	335	1,312
	共通	20	20	39	17	57	12	68
	合 計	1,321	1,451	2,772	1,438	4,210	1,407	5,617
2018年 11月期	調味料	360	401	761	401	1,162	372	1,534
	タマゴ	242	254	496	249	745	264	1,009
	サラダ・惣菜	300	312	612	317	929	254	1,183
	加工食品	109	125	234	122	356	112	468
	ファインケミカル	21	27	48	26	74	26	100
	物流システム	326	344	670	356	1,026	356	1,383
	共通	14	15	29	12	42	17	58
	合 計	1,372	1,478	2,850	1,484	4,334	1,401	5,735
新事業区分	事業名	第1四半期	第2四半期	第2四半期累計	第3四半期	第3四半期累計	第4四半期	通期
2018年 11月期 (A)	調理・調味料	433	481	913	482	1,396	447	1,843
	サラダ・惣菜	300	312	612	317	929	254	1,183
	タマゴ	242	254	496	249	745	264	1,009
	フルーツ ソリューション	36	45	82	41	123	36	159
	ファインケミカル	21	27	48	26	74	26	100
	物流	326	344	670	356	1,026	356	1,383
	共通	14	15	29	12	42	17	58
	合 計	1,372	1,478	2,850	1,484	4,334	1,401	5,735
2019年 11月期 (B)	調理・調味料	431	486	918	477	1,395		
	サラダ・惣菜	214	228	443	231	674		
	タマゴ	234	256	490	250	740		
	フルーツ ソリューション	35	44	79	40	118		
	ファインケミカル	20	22	43	18	60		
	物流	336	356	692	358	1,051		
	共通	12	14	26	11	37		
	合 計	1,283	1,407	2,690	1,385	4,075		
前年差 (B)-(A)	調理・調味料	△ 1	6	4	△ 5	△ 1		
	サラダ・惣菜	△ 86	△ 83	△ 169	△ 86	△ 255		
	タマゴ	△ 7	2	△ 6	1	△ 5		
	フルーツ ソリューション	△ 1	△ 2	△ 3	△ 1	△ 4		
	ファインケミカル	△ 1	△ 4	△ 5	△ 9	△ 14		
	物流	11	12	22	2	24		
	共通	△ 3	△ 1	△ 3	△ 1	△ 4		
	合 計	△ 89	△ 71	△ 160	△ 100	△ 260		

※第2四半期は第2四半期累計と第1四半期の差、第3四半期は第3四半期累計と第2四半期累計の差、第4四半期は通期と第3四半期累計の差により算出しております。

【営業利益】

(単位：億円)

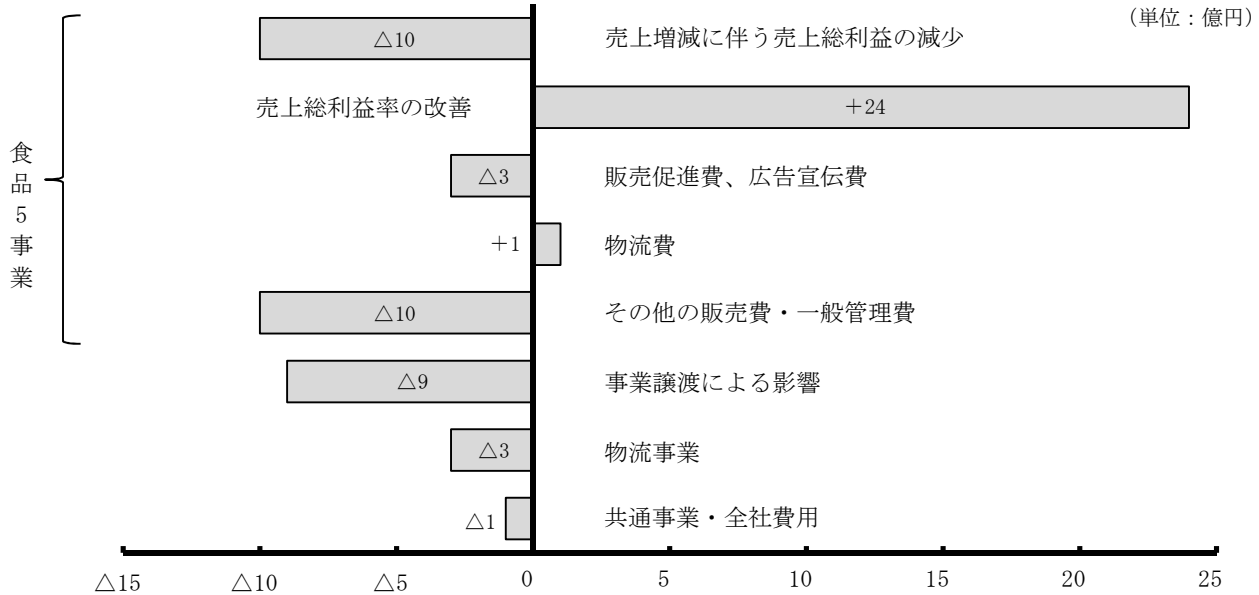
旧事業区分	事業名	第1四半期	第2四半期	第2四半期累計	第3四半期	第3四半期累計	第4四半期	通期
2017年 11月期	調味料	26	48	73	46	119	34	153
	タマゴ	10	10	20	13	33	11	44
	サラダ・惣菜	6	11	17	13	29	9	38
	加工食品	△ 1	3	3	3	6	△ 4	2
	ファインケミカル	△ 0	1	1	4	6	3	9
	物流システム	13	16	29	16	45	14	59
	共通	2	3	5	2	7	1	8
	合 計	56	92	148	96	244	69	313
2018年 11月期	調味料	26	45	71	44	115	29	144
	タマゴ	13	17	31	16	47	13	60
	サラダ・惣菜	6	14	20	14	34	10	44
	加工食品	1	4	5	3	8	△ 1	6
	ファインケミカル	△ 0	3	3	5	8	5	13
	物流システム	8	18	26	17	44	12	56
	共通	2	2	4	2	6	1	8
	合 計	57	102	160	102	261	69	331
新事業区分	事業名	第1四半期	第2四半期	第2四半期累計	第3四半期	第3四半期累計	第4四半期	通期
2018年 11月期 (A)	調理・調味料	38	59	98	58	155	43	198
	サラダ・惣菜	6	13	19	14	33	10	43
	タマゴ	17	21	39	20	59	19	78
	フルーツソリューション	2	3	5	2	8	△ 1	7
	ファインケミカル	0	4	4	6	9	5	15
	物流	6	15	22	15	37	10	47
	共通	4	4	8	4	12	3	15
	全社費用	△ 17	△ 18	△ 35	△ 17	△ 51	△ 20	△ 71
	合 計	57	102	160	102	261	69	331
2019年 11月期 (B)	調理・調味料	42	66	108	57	165		
	サラダ・惣菜	2	10	12	9	21		
	タマゴ	20	20	40	21	62		
	フルーツソリューション	△ 0	2	1	1	2		
	ファインケミカル	△ 0	4	4	3	7		
	物流	7	14	21	12	34		
	共通	4	4	8	3	11		
	全社費用	△ 15	△ 18	△ 33	△ 19	△ 52		
	合 計	60	101	161	89	250		
前年差 (B)-(A)	調理・調味料	4	6	10	△ 0	10		
	サラダ・惣菜	△ 4	△ 4	△ 8	△ 4	△ 12		
	タマゴ	3	△ 1	2	1	3		
	フルーツソリューション	△ 3	△ 2	△ 4	△ 1	△ 5		
	ファインケミカル	△ 0	0	0	△ 2	△ 2		
	物流	1	△ 2	△ 0	△ 3	△ 3		
	共通	△ 0	0	0	△ 0	△ 0		
	全社費用	2	△ 0	2	△ 2	△ 1		
	合 計	3	△ 2	1	△ 12	△ 11		

※第2四半期は第2四半期累計と第1四半期の差、第3四半期は第3四半期累計と第2四半期累計の差、第4四半期は通期と第3四半期累計の差により算出しております。

【営業利益：増減要因（前年差）】

(単位：億円)

	2018年11月期 (A)	2019年11月期 (B)	前年差 (B)－(A)
第3四半期累計	261	250	△ 11



(2) 設備投資と主要な販売費・一般管理費

(単位：億円)

	2017年11月期 第3四半期累計	2018年11月期 第3四半期累計 (A)	2019年11月期 第3四半期累計 (B)	前年差 (B)－(A)
設備投資	213	227	216	△ 12
減価償却費	124	135	139	4
販売促進費	29	28	29	1
広告宣伝費	72	70	72	1
物流費	192	203	194	△ 9
労務費	236	246	254	8
研究開発費	28	28	28	0

(3) 国内におけるサラダ調味料の業態別販売量および金額（キューピー株式会社）

		2017年11月期 第3四半期累計	2018年11月期 第3四半期累計 (A)	2019年11月期 第3四半期累計 (B)	前年差 (B)－(A)
家庭用	販売量(千t)	99	98	101	3
	金額 (億円)	501	492	495	3
業務用	販売量(千t)	81	81	79	△ 2
	金額 (億円)	308	310	300	△ 9

(4) 海外展開 売上高・営業利益の状況

注) 2019年11月期より、次のとおり変更いたしました。
 ・事業区分の変更に伴い、「調味料事業」を「調理・調味料事業」に名称を変更
 ・「輸出・新規」を、「欧州」および「輸出」に区分を変更
 ・海外展開に按分した費用のうち、エリア別に按分できない費用をその他費用として区分

【売上高】 (単位：億円)

旧区分		2017年11月期 第3四半期累計	2018年11月期 第3四半期累計
中国		131	141
東南アジア		62	74
米国	調味料	49	51
	タマゴ	31	38
輸出・新規		33	47
合 計		306	352

(単位：億円)

新区分		2018年11月期 第3四半期累計 (A)	2019年11月期 第3四半期累計 (B)	前年差 (B) - (A)
中国		141	148	7
東南アジア		74	82	8
米国	調理・調味料	51	51	0
	タマゴ	38	40	1
欧州		21	22	1
輸出		27	30	3
合 計		352	372	21

現地通貨ベース

2019年11月期 第3四半期累計 増減率
10 %
11 %
△ 0 %
3 %
12 %
—
—

※海外子会社の数値は、10月から6月を対象としております。
 ※前年差の合計には、為替影響△9億円が含まれております。

【営業利益】 (単位：億円)

旧区分		2017年11月期 第3四半期累計	2018年11月期 第3四半期累計
中国		15	17
東南アジア		2	5
米国	調味料	4	3
	タマゴ	△ 7	3
輸出・新規		1	1
合 計		15	30

(単位：億円)

新区分		2018年11月期 第3四半期累計 (A)	2019年11月期 第3四半期累計 (B)	前年差 (B) - (A)
中国		17	22	5
東南アジア		5	7	1
米国	調理・調味料	3	4	1
	タマゴ	3	3	△ 0
欧州		△ 4	△ 2	2
輸出		5	5	0
その他費用		△ 3	△ 3	0
合 計		27	37	10

現地通貨ベース

2019年11月期 第3四半期累計 増減率
39 %
25 %
26 %
△ 9 %
—
—
—

※海外子会社の数値は、10月から6月を対象としております。
 ※前年差の合計には、為替影響△1億円が含まれております。

(5) 営業外・特別損益の主な増減内容

(単位：億円)

	2018年11月期 第3四半期累計 (A)	2019年11月期 第3四半期累計 (B)	増減 (B)－(A)	増減内容 (2018年11月期 第3四半期累計対比)
営業外損益	12	12	△ 0	受取保険金の増加 + 2
特別損益	△ 11	△ 7	5	事業譲渡益の増加 + 6 減損損失の増加 △ 4

(6) 貸借対照表の概要、増減内容

(単位：億円)

	2018年11月期 (A)	2019年11月期 第3四半期 (B)	増減 (B)－(A)	増減内容 (2018年11月期対比)
(資産の部)				
流動資産	1,584	1,735	151	現預金の増加 + 65 売掛債権の増加 + 92
固定資産				
有形・無形固定資産	2,051	2,142	90	取得による増加 + 250 減価償却による減少 △ 136
投資その他の資産	562	533	△ 29	投資有価証券の減少 △ 38
(負債の部)				
	1,536	1,677	140	仕入債務の増加 + 59 借入金の増加 + 71 未払法人税等の減少 △ 26 賞与引当金の増加 + 38
(純資産の部)				
	2,661	2,733	72	利益剰余金の増加 + 92 その他の包括利益累計額の減少 △ 29

※2019年11月期の期首より「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等を適用しております。
過年度数値につきましては、当該会計基準等を遡及適用後の数値となっております。